

NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.43

発行日 2002年3月31日
 発行者 NICE沼津国際交流協会
 (企画広報部会)
 所在地 沼津市御幸町16番1号
 (事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内
 ☎055-934-2529

フェスタ インターナショナル

沼津国際交流協会設立10周年記念事業

世界への架け橋 in 沼津

—輝く未来へNICE街 2002—

2/17

10:00
16:00

主催/沼津国際交流協会

入場無料

- ◆ 展 示
- ◆ 食(試食)
- ◆ 販 売
- ▶ ステージ
- ▶ 体 験 び
- ◆ 遊 び



8,000人の 熱気の中で...



フェスタ・インターナショナル盛会のうちに

10周年記念事業成功裡に終了!

企画広報部会部会長 田中治之

テープカット終了と同時に入場者が怒涛のごとく押し寄せ、その後も人の波がきれることなく続いてくるのを見たときに成功を実感しました。3,000~5,000人を目標に掲げてPRしてきましたが、誰がこの混雑を想像できたでしょうか。



平成13年5月21日に第1回目の実行委員会がスタートし、都合8回の実行委員会と2回の全体会議を当日までに開催してきました。その間、各ゾーンのチーフを始めとして実行委員会のメンバーには大変なご苦勞をお願いし、お詫びと共に感謝申し上げます。

思えば平成12年度国際交流フェアが終了したときの、会長からの一言「来年は10周年だな」がこの記念事業の出発点となりました。会場（キラメッセぬまづ）を全面使用することになり、はたして協会の事業だけで賄えるのだろうかということも考えましたが、各部会より様々なアイデアを出してもらい、実行委員会で協議し、会場レイアウトを作成するころには、あの広い「キラメッセぬまづ」が埋め尽くされてしまいました。協会の事業にいつも協力してくれる外国人や日本人、そしてこの事業のために協力してくれました団体や人々に支えられて、みごとに成果をあげることができました。



実行委員会のメンバーには全体事業の位置付けから部会を超えて事業を考えてくれるようお願いをし、みごとに実行されました。このことは、いままで各部会ごとに活動していた沼津国際交流協会が内からばかりでなく外からも一つであるとの認識を更に深めたことと思います。又、前日の準備と後片付けのスピーディーなものには驚かされました。準備には沢山の人の手を借りてくれましたおかげで考えていたより大分早く完了することが出来、後片付けも予定終了時刻より前に終わりにできましたおかげで早めにおいしいお酒を飲むことができました。そして協力してくれた人達の間であって難しい調整をしてもらい本当にありがとうございました。



細かい問題点はいくつかありましたが、各部会の反省会をお願いするとしまして、一つだけあげれば、ゴミの担当を決めておくべきだったと思います。今後このような事業が行われるかどうかはわかりませんが、実施する場合には頭に入れておいてください。

最後に今回この記念事業を実施するにあたり、大変多くの方にお世話になりました。改めて感謝申し上げます。そして最後まで気を抜けずにがんばってくれました関野事務局長を始めとする事務局のメンバーに拍手を送ります。

感謝!感謝!

ステージ 光と影

ステージ担当チーフ 青木章夫
(協会副会長)

2月17日午後4時、ステージ上のすべての演技が終了し、誰もいなくなったステージを前に、メンバーの多くの協力のお陰で予想以上に良くできた!との満足感にひたり、再度ステージを

10周年特集記事

見上げました。

昨年の第1回目の実行委員会から何回かの実行委員会の間、これから10周年記念事業をどのように作りあげていったら、今まで実施してきた数々の行事や活動の集大成とした大イベントが出来上がるのか、かいつも頭の中にはイメージがわかなかったのが正直な気持ちでした。



しかし、ステージを担当することになり具体的な企画を進める中で、各部会の努力により当初考えられなかったほどの多くの団体や個人から演技や企画の参加申し込みがありました。最終的には20団体・個人が日本の伝統芸能を始め、中国のにぎやかな獅子舞、武術、歌など、そして東南アジアや中近東諸国の舞踊や文化紹介、めずらしい南米の舞踊、そしてカラマザー交換教師によるスピーチや外国人と日本人のパネルディスカッションなども取り入れながら、多彩なステージを構成することができ、来場した8,000人以上の沼津やこの地域に住む多くの日本人たちにこれらの国々と人々が身近になったことと思います。NICEの理念の一つであるお互いを理解して平和な世界を作り上げる一つの大きなきっかけになり得たことでしょう。企画実施した責任者として本当に嬉しく思いました。



当日は9時半の沼津市立高校ブラスバンドのパレードに始まり、6時間に渡ってステージでの演技が行なわれました。企画実施責任者とし

てはそれぞれのグループに思う存分演技していただきたかったのですが、6時間で20グループの団体・個人が演技やパネルディスカッションなどをするとなると、演技者には平均10分～15分内外の時間で演じてもらわなければならない、非常に心苦しく思いながら、スケジュールを進めることとなりました。このステージ企画のコンセプトとしてできるだけ演技者や見る人たちに印象的なステージにしたかったのですが、時間の制約の中で、ただただ忙しく進行することになってしまったのはステージ企画実施責任者として大きな反省点でした。

しかしながら、NICE10周年の節目の行事として、参加してもらったグループはもとより、市民の皆さん、NICEのメンバーの心に大きな思い出を作ることができたと自負しています。



最後に参加していただいた多くのグループや人々に感謝するとともに、縁の下の力持ちとしてこのステージプログラムを問題なく進めてくれたスタッフの皆さんに感謝したいと思います。



フェスタ・インターナショナル

フェスタ・インターナショナルを終えて

体験ゾーンチーフ 笹原嘉純
(協会理事)

オープニングセレモニーが終わり会場に人が入ってきた時には、思ったよりも来場者が多く、ブースにも人が流れていき少し安心しました。ただ最初は、ブースによってはほとんど人が来ていないところもあり、大丈夫かなと心配でした。しかしそれをつかの間で、程なくどのブースも人で埋まるようになり、逆に、来る人が多すぎてスタッフは休憩時間も取れないのではと心配するほどでした。



体験ゾーンには、「日本語を語る会」、「茶道」、「手打ちそば」、「箏曲」、「英語で話そう」、「中国語ミニ講座」、「書道」、「いけ花」、「クラフトコーナー」、「着物着付け」、「ドリームキャッチャー」、「沼津垣」の12のブースを設けました。準備段階では、ブースの内容は各ブースの担当グループにまかせ、各ブースで必要な机や椅子、パネルなどの数を調整するのが主な仕事で、それほど苦労はありませんでした。しかし当日になって、パネルを(いつのまにか)余分に使っているブースがあったり、パネルに足がついていることまで気が回らなかったために配置に困ったとか、もっとパネルが欲しいなど、多少の混乱もありました。



当日は思った以上に人の出足がよかったために、あらかじめ休憩時間を決めていたところは休憩もできたようですが、そうでないところは引きもきらず人がやって来たために、昼食も満足にとれないところもあったようです。また、用意していた人数分の材料が早々と終わってしまい、急遽材料を買いに行ったり、やむを得ず早めにブースを開めたところもありました。



とにかく予想以上に来場者が多く、どのブースにとっても成功裏に終わったと言えるイベントではなかったかと思います。誰にも初めてのことで、パネルの配置や材料の量など多少の反省もありますが、次回(10年後?)に向けてどのスタッフにとっても学んだことは多かったと思います。

参加して下さったスタッフの皆さん、ご苦労様でした、そしてありがとうございました。



遊びのゾーンから

遊びのゾーンチーフ 長濱昇
(協会副会長)

遊びのゾーンは、会場中央に広いスペースをいただき、存分に活用できて大変良かった。

餅つきコーナーでは、30kgの餅を5回に分けてついた。長蛇の列ができ、手拍子に乗って杵を握る子、キナコ餅をペロリと平らげた満足そうな表情に、スタッフの労も報いられたのでは。

10周年特集記事

つき始めの「こづき」に挑戦し餅の粘りにネをあげた外人さんなど、交流にふさわしい微笑ましい場面もあった。また、餅つきの合間に、福笑いに興ずる子ども達は楽しげだった。ただ、蒸し釜の位置は、危険防止上さらに一考すべきであったと思う。

隣では、インラインスケートが人気を呼んでいた。スケート用には狭いスペースだったが、隣接するピッチングゲームのスタッフと旨くエリアを使い分けてやってくれた。



ピッチング、スケート共に上々の人気で、スタッフは休憩するのに苦労されたと思う。

各国の遊びのコーナーは、カラマズー玩具のカズーや風船の動物造り、中国の羽根つき、トルコ独楽などで賑わった。羽根つきには本国の達人級も現れたとか。

「おしえて名人」のコーナーでは、竹細工名人の手許を熱心に見入る子、夢中でトンボやウグイス笛を作る子など、名人の指導を受けながら、終日「静かな熱気」に包まれていた。



全体を振り返るとき、餅つき・スケート・ピッチング・竹細工など、どれも危険と隣り合わせである。長時間にもかかわらず、全くの無事故で成功裡に終了できたのは、支えてくださったそれぞれのスタッフの皆様が、細心の注意を払ってご指導して下さったことと、準備が完璧であったことに尽きると思う。これらの方々に心から感謝を申し上げたい。



沼津から世界へ

販売ゾーンチーフ 徳田 和人
(協会副会長)

この度の10周年記念事業では、販売部門を担当させていただきました。J Cに所属していた頃の経験から、おおよその進み具合は把握しているつもりでしたが、いざ準備となると、事前の全体会議の段階から、食材からの匂いの問題や電源の適正な配分配置など、考慮しなければならないことが数多くあり、思っていたより準備のための作業が多くなりました。また当日にブースの配置違いなどで、急遽変更をしたりと慌ただしいスタートでした。また各ブースへの電源ケーブルの配線時には、手伝いに来てくださったみなさんも既にそれぞれ各自のブースの準備作業に追われ、人手が足りなくなってしまう、1人で配線する結果となってしまったのがハードでした。次回イベント開催時には、共用部分に関わる準備人員を、事前会議の時点で予め確保するなど、効果的な人員配置が必要に思われます。



フェスタ・インターナショナル

開場してからは、次々に入場してくる来場者の出足の速さに驚くほどでした。スタート2時間くらいで、ざっと数えて既に2,000人余りの来場者が会場はごった返すほどでした。特に試食と販売のブースは連続していたため、あの広い通路がまっすぐ歩けないほど人々で溢れ大盛況でした。ただ試食の方に大勢の人が滞留し、販売の方まで多くの人が流れて来ていなかったのが残念でした。次回より、無料配布と有料販売を連結させた配置を取る場合には、販売ブースを人々が先に通るような動線計画が必要なのではないでしょうか。子供も多く通行する中、熱い油やお湯、火などが近くにたくさんあり、緊張し通しの販売担当でしたが、特に大きな問題もなく、無事に終了することができ、ほっとしています。改めてNICE会員一同の、国際交流に対する情熱と底力を感じさせられた1日でした。これからも色々な機会を通じて、「沼津から世界へ」実現していきたいものですね。みなさんお疲れさまでした。



世界の味

食ゾーンチーフ 長澤芳明
(協会副会長)

行列……行列……どこを見ても人、人の波、あいにくの雨にもかかわらず、本当にあれほどの人が来てくれるものとは思ってもいませんでした。キラメッセという地の利を得ている会場ということもありましたが、これも協会の皆さんの日頃のご活躍、宣伝の賜だと思えます。

いつもご苦労様です。



まず設営です。私は多少設営関係の仕事をしていますので予算もないし、人手もないし、大変だなと思っていました。まっ、取りあえずやるしかないなと思ってフタを開けてビックリ！予想外の早さで思っていたより半分位の時間で設営が終了しました。

そして私の担当の食のコーナー。皆さん個人的な方が多く、打ち合わせの段階から十分に楽しませて頂き、本番でも役得？見回りをする度に至る所で並ばずに味を楽しませて頂きました……ごちそうさまでした。本当にありがとうございました。



今回のイベントが本当に成功かどうかということは私にはわかりませんが、ボランティアの団体があれだけの事ができたというのは素晴らしいと思います。小林会長、田中企画広報部会長を中心に、まとまりよく活動ができたなと思います。

協会の皆さん、各コーナーの皆さん、本当にありがとうございました。



10周年特集記事

10年の軌跡

展示ゾーンチーフ 齋藤 哲一
(協会理事)

展示ブースをご報告させていただきます。何度かの打ち合わせにより、北側入口よりキラメッセの西側面と一部南面を使わせていただきました。入り口より国際交流協会のインフォメーション、続いて大きく国際交流協会の部会が並びブースとして設営していただきました。



ブースの中は各部会が日頃の活動を協会の方々に展示を行いました。とても日頃の活動内容を全て掲示するには大きくはありませんでしたが、本当に所狭しと交流の流れが見せられていました。私としましては、全体の流れ、各部会の活動が見れた事はとても勉強になりました。お恥ずかしいことなのですが、カラマズー市の地図も見れて、また岳陽市も地図を見ることによってどこにあるのかやっと知った次第でした。普段あまりお会いする機会がなかった部会の方々との交流も持てたように思いました。当日はご報告のようにととても多くの方々がお越しいた



だき、当展示ブースにも人が絶える事はなく国際交流に関心がある事を強く感じました。

南面の一部では、今回とてもご協力いただいた(株)沼津青年会議所様、沼津海洋少年団様、沼津スケート協会様でした。3つの展示ブースも各団体の特色を活かした展示となっていました。スケート協会様等はモニター画面等を使われ多くの人々の目にとまったものと思われます。とにかく私が驚いたのはご入場いただいた市民の方々の人数でした。当日あまり天候も良くない寒い日でしたが、多くの子供達から60歳過ぎている方々まで大変なにぎわいだったと思います。さすが地元で10周年を迎える国際団体だったと感じました。

今後もこのような国際的な催しを企画運営していくべきだと思いますし、時代だと思います。お手伝いいただきました方々、協会の皆様、各団体の皆様、事務局、どうもありがとうございました。



★平成14年度総会★

5月26日(日)

ホテル沼津キャッスルにて

13:00～ 総会

14:30～ 懇親会

会費：¥3,000

(当日集めさせていただきます)

14年度会費払い込みにご協力
ください

カラマズー便り

My Life in America

Since I have come here I have learned many things about America and have had many experiences. The first thing I felt was people in America, they are so friendly. While I was coming here, I was so nervous because it was my first time going to a foreign country. When I got to the airport in Detroit, most of the people around me were speaking English. I couldn't understand at all. That made me more nervous. Then, I thought it's going to be so hard to stay in America. I was full of anxiety.

But things got better. I saw the people smiling at me. That made me feel some relief. And my host family, they are so nice. They have treated me like one of their family. Also, the students in my high school are so friendly. They spoke to me and said "Hi!" even if it was the first time we met.

But, it was so hard to make friends. I know that my English is poor so I am a little ashamed to speak it. It was often difficult to speak to people. But then I decided to become more positive. If I was going to improve my speaking, I had to try to speak to others more often. I also decided that if I did not understand someone, I would tell them.

In September and October I ran Cross Country. Before that, I had never experienced. Cross Country was fun because the people on the team was so nice. They became my important friends. Practice was so hard but they cheered me a lot by saying "Good job ,Kumiko!" That helped me to do Cross Country even though I was one of the slowest runners.

My host family has been so super helpful! When I have worries, I can talk about them.

They listened and cheer me a lot. Also, they like sports, so we can enjoy them together. Basketball, running, skiing, and tennis are things I do with them. I really appreciate my host family and I'm so happy to stay with them.

On September 11th terrible acts were committed by terrorists. Everyone here was shocked by this happening. Since that day, I've seen so many American flags. Nobody told the people to show their flags, but they felt so sad about the people who died that day. Everyone had the same feelings about their country and companions. I felt their patriotism so strongly.

I have often heard that smiling common language in the world. Since I have come to America, I have felt that to be especially true. So many times people I did not know smiled at me and made me feel welcome. I am enjoying my stay in America, although my time here is starting to run short. But as long as I am here I will remember to keep smiling.

I appreciate everything that my family in Japan and the Committee people in Numazu and Kalamazoo have done to make it possible for me to stay here. I've been having so many great experiences because of their help. But now that I have spent so much time away from home, I have also come to miss my friends and family in Japan, and to appreciate how they make my life better.

I hope I will always appreciate everything that everyone has done to make this opportunity possible.

Kumiko Warashina
January 22, 2002

カラマズ一部会

Year End Party

12月8日(出)に、恒例のYear End Partyを千本プラザで開催しました。この日までにカラマズ一部会で実施のために会合を何回かもち、いよいよ当日を迎えました。池田さんと高橋さんの司会のもとPM6:30に開会しました。大人や子供を含め約100人の参加者(そのうち沼津近郊に暮らす外国人の方35人)があり、盛大にパーティーが行われました。



年々工夫を凝らした仮装が多く、参加者を沸かせてくれました。また、それぞれの自慢の料理を一品持ち寄ってのポトラックディナーでは、食事をしながらお互いに親睦を深める事ができました。

食事の後、今年もジャズバンド“チョリソ”の素晴らしい演奏のもと、ホールでは仮装をしながらのダンスが始まり、パーティーも最高潮に達しました。そして、いよいよ仮装コンテストの表彰があり、入賞者には花が贈られました。

また、帰りにはサンタより、プレゼントが参加者それぞれに手渡され、楽しい一時が閉幕しました。ボランティアの皆さん、会場の準備や食事の片づけご苦労様でした。



ふれあい部会

春と共にスポーツ交流!!

3月10日、勤労者体育センターでスポーツ交流会が開催されました。

アメリカ・イラン・ガーナ・カナダ・台湾・中国・ブラジル等の外国の方17名、日本人60名の若若男女が引佐町、掛川市、富士宮など遠方からも参集しました。

ドッジボール、バスケット、バドミントン、ビーチバレーボール、インディアカ、バレーボール、10人11脚、綱引き等、交流を目的とするためにルールも緩やかにし、応援するギャラリーで体育館には歓声が途絶えることはありませんでした。



ドッジボールには、6歳から65歳までの幅広い年齢層の20人が参加しました。中・高校生は力いっぱい投げていましたが、小さい子供にはそつと当てたりする気遣いが微笑ましかったです。

参加した池永さん(大岡小5年生)は、「つき指をしたけど、たくさんボールを受け取れて、投げることができた」と感想を嬉しそうに話してくれました。

本格的なスポーツで汗を流す人あり、ゲームで大笑いする人あり、交流に努める人ありと、それぞれの楽しみ方で、和気あいあいの中有意義な一日を過ごすことができました。次回(H15.3.9)には、また一緒に汗を流しましょう!!



お し ら せ

中国岳陽市への留学生決定！

3月3日(日)好天に恵まれた桃の節句、岳陽師範学院への留学生の面接が行われ、以下の4名の方が留学生として派遣されることが決まりました。

①留学期間 ②専攻 ③抱負



志村 直子 (しむら なおこ)

- ① 1年間
- ② 中国語・中国画・中国武術
- ③ 中断していた中国語の勉強をもう一度しっかりやりたい。



野田 舞夏 (のだ まいか)

- ① 1年以上
- ② 中国語・中国画
- ③ 憧れの中国の異文化に触れ、中国について深く理解し見聞を広めたい。



渡邊 麻衣 (わたなべ まい)

- ① 1年間
- ② 中国語・中国画・中国武術
- ③ 中国に関心があり、語学を始めとして多くの文化に触れたい。



小松 美奈子 (こまつ みなこ)

- ① 半年
- ② 中国語・中国画・中国武術
- ③ 学生時代に学んだ中国語をもう一度現地で学び、国際交流活動に役立てたい。

平成14年度カラマズー市への訪問団派遣！

期間：平成14年7月19日(金)～7月30日(火)
(7泊8日はカラマズーでホームステイ)

人数：15名

スケジュール (予定)

月 日	行 程
7/19(金)	沼津⇒成田⇒デトロイトまたはシカゴ⇒カラマズー
7/20(土) ～25(木)	ホームステイ
7/26(金)	カラマズー⇒ソルトレイクシティ
7/28(日)	ソルトレイクシティ⇒サンフランシスコ
7/29(月)	サンフランシスコ⇒成田
7/30(火)	沼津着

※申込み多数の場合は抽選とします。

詳細は5月1日以降、事務局までお問合せください。